

第101回東北地方交通審議会  
船員部会議事要録

平成29年3月24日  
東北地方交通審議会  
船員部会事務局

# 東北地方交通審議会

## 第101回船員部会

日 時 平成29年3月24日（金） 15：30～

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 長谷部部会長、高橋(真)部会長代理、  
佐々木委員(欠席)、森委員  
労働者委員 : 正路委員、高橋(雅)委員、津田委員  
使用者委員 : 齋藤委員(欠席)、白幡委員、平岡委員  
  
運輸局 : 菅原海事振興部長、阿部海事振興部次長  
峯田船員労働環境・海技資格課長  
澤村船員労政課長、佐々木労政係長

議 題 (1) 船員の特定最低賃金の改正決定に関する公示について  
  
(2) 管内の雇用等の状況について  
  
(3) その他

### 配付資料

資料1 船員の特定最低賃金の改正決定に関する公示  
資料2 船員職業安定業務取扱状況説明資料(平成29年1月分)  
資料3 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)  
資料4 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)  
資料5 新規求人・求職数(全国)  
資料6 有効求人・求職数(全国)  
資料7 有効求人倍率(東北管内)  
資料8 有効求人倍率(全国)  
資料9 新聞情報

## 議 事 概 要

### ◎開 会

【阿部海事振興部次長】

〔第101回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料確認〕

### ◎議 事

(1) 船員の特定最低賃金の改正に係る東北地方交通審議会の意見に関する公示について

【長谷部部会長】

それでは、議事に入ります。

お手元にございます議事次第の「議題(1) 船員の特定最低賃金の改正決定に関する公示について」事務局からお願いいたします。

〔澤村船員労政課長から資料1に基づき報告〕

【長谷部部会長】

ありがとうございます。

皆さんの何人かにもお手伝いいただきました最賃の結果です。数字等間違いありませんね。これは法律ですから。大丈夫ですね。

では、報告をお聞き届けいただき、ご了承をいただいたという形で、先に進みたいと思います。ありがとうございます。

(2) 管内の雇用等の状況について

【長谷部部会長】

次に、「議題(2) 管内の雇用等の状況について」事務局からお願いいたします。

〔澤村船員労政課長から資料2～8に基づき報告〕

【長谷部部会長】

ありがとうございます。

ただいまの報告内容につきまして、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

有効求人倍率、求職に関する資料を見ていると、毎年東北地方は10人くらいずつ減っていますよね。これは、一言でいうと何が原因になっていると思いますか。供給が余ってということなんだろうけど、変わるかなと思っていたら変わらないで、そのままスライドしていますよね。

【澤村船員労政課長】

はい。原因ですか……。

【長谷部部会長】

実勢をある程度反映しているのでしょうか、何かつかんでいることはありませんか。

【澤村船員労政課長】

そうですね、特に精査しておりませんでしたので、分かりかねます。

【長谷部部会長】

「漁船労働者が全体として減っている。」という、これまで言われてきたことが非常に顕著にあらわれているということなんですかね。そう言い切ってよろしいですか。

【澤村船員労政課長】

それもあるかと思います。

【長谷部部会長】

求職が減っていると同時に求人も減っていますよね。

【澤村船員労政課長】

求人も減っていますね。

【長谷部部会長】

全国的にも同じ傾向ですか。

労働者側で何かありませんか。

【高橋（雅）労務者委員】

特に気仙沼近辺は遠洋マグロ船が多いのですが、なかなか乗組員が集まらないということで、廃業なり事業縮小なりということがあって、求人が減っていると思います。一番の原因は、人材が集まらないということですね。

【長谷部部会長】

ほかに何かございませんか。

【白幡使用者委員】

我々の業界は、どちらかという自宅から通える船員さんが多い職種・職場なので、意外と転職は少ないです。

ただ、何カ月か前に県外のある船会社では、船員が転職したためその後任者の求人募集をかけたところ、なかなか集まらないということは耳にしております。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。

その他特筆すべきことがなければ、そのままお聞きして、ご了承いただいたということで先に進んでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

（3）その他

【長谷部部会長】

それでは、続きまして「議題（3）その他」事務局から何かございますか。

〔澤村船員労政課長から前回の水産高校就職内定調査に関して追加説明〕

【長谷部部会長】

ありがとうございました。

母数を標準化したということですのでよろしいですね。（「そうですね」の声あり）ありがとうございます。労働側はよろしいでしょうか。

それでは、次に委員の皆さんからの情報提供ということになります。

労働者委員のほうから行きますか。

【高橋（雅）労働者委員】

それでは私のほうから。

前回もお話があったと思いますが、中央の労働協約改定状況についてですが、日本カーフェリーのほうが3月22日、第4回の交渉が行われまして、基本給については船主側のほうが「周囲の状況を考えながら総原資の中で判断しなければならない。」ということで、まだ内部検討というような状況です。また、手当関係についても要求していますが、今言ったように、全体的な数字の中で判断したいということで終わっております。

本交渉を一時中断して、小委員会のほうでも協議をしましたが、なかなかお互いの考え、議論が平行線で、一度持ち帰って検討するという内容になっております。

次に内航関係ですが、内航2団体について、3月23日、第4回の交渉がありました。ここでも基本給に関しては、後継者確保の観点から賃金の改定は必要と船団側は考えておりますけれども、内航海運の取り巻く状況が厳しいということと、周囲の状況を見きわめて検討したいという考えで終わっております。

こちらについても、本交渉を中断して、小委員会に入りましたけれども、お互いの考えに隔たりがあるものですから、再度解決に向けて持ち帰って検討することになっております。

ちなみに、今回は28日に行うことにしております。

もう一つ内航関係で、全内航のほうですが、こちらと同じ日に第4回が開催されております。家族手当については、船団側から3月16日の第3回交渉のときに子供について250円アップの1,700円という回答が出ております。ただ、組合としては、ほかの船団との差があるので再考を求めています。

基本給についても、先ほどの内航2団体と同じように、周囲の状況を見ながら見きわめたいという考えで、こちらでも本交渉を一時中断し、小委員会を設けましたが、互いに考え方に隔たりがありまして、議論しますけれども平行線をたどったということで、お互い解決に向けて、もう一度持ち帰って議論することになっております。

こちら、今回の交渉が3月28日ということになっております。

交渉関係については以上です。

それともう一点、前々回に話したと思いますが、水産関係の中央団体、国交省、

文科省等を交えての漁船乗組員確保プロジェクトの2回目の会議が14日に開催されました。

1回目のときに、求人予定者についてアンケートを取るようになっていましたが、その結果として、各漁業団体、各社の来年4月の水高新卒生の採用希望人数が全国で365名ということになりました。

その内訳としましては、航海士が128名、機関士が181名、通信士9名、電子通信士が47名となっています。ブロックごとでいいますと、北海道が8人、東北が105人、関東・東海が63人、日本海北部の新潟・富山・石川・福井が10人、日本海南部の京都・兵庫・鳥取・島根・山口が27人、四国が23人、九州が61人、そのほかに全国からの採用を希望する人数ということで68人あったということでした。

また、この会議の中で、学校の先生に対する漁船漁業就業への理解・連携、各ブロックごとの会議、求人票の提出に関する事、そして漁業就業支援フェアへの参加の呼びかけ等のお話があったということです。

以上です。

#### 【長谷部部会長】

ありがとうございました。

経過報告ということですね。ありがとうございます。状況がよくわかりました。

ほかにございますか。

#### 【津田労働者委員】

1月に漁船による初めてのトビイカ調査のために台湾・フィリピンのほうに八戸から出航したという報告を私からしておりましたが、無事に調査を終了しまして、3月9日に八戸港に入港しております。

その調査結果について、3月14日、水研センター主催によるシンポジウムが開催されて、報告会が行われました。一定の成果を得た上で、きょう24日、持ち帰ったトビイカを販売するという事になっております。加工業者の方々が大分興味を示しており、商業化できればいいなという報告がそのシンポジウムでありました。

これから、新たな食糧を確保する上で、新たな生産性を生める漁業になればいいなというところで出席してきました。

以上、調査は無事成功に戻ってきたという報告にかえさせていただきます。

#### 【長谷部部会長】

将来有望かもしれない。（「そうですね」の声あり）ありがとうございます。

ではよろしいですか。正路委員はよろしいですか。

では、次に使用者委員のほうからお願いします。

#### 【平岡使用者委員】

3月10日に東北内航船員対策連絡協議会を開催いたしました。東北運輸局にはご協力いただき、ありがとうございます。

各社、年々船員の確保が困難になっている現状が報告されました。若手船員の確保というのが一番重要であるということで、「資料9新聞情報」の5ページにもありますとおり、水産高校での出前講座について、若い人の働き口を紹介するため、引き続きよろしくお願いいたします。

以上です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。

そのほかにいかがでしょうか。

【白幡使用者委員】

インフォメーションですけれども、我が社にとっては非常に痛手となるわけですが、大島架橋のほうがいよいよ29日に本体を設置するというので、今作業に入っています。

ただ、非常に作業自体が微妙なので、ちょっとした強風等々に見舞われると、どうしても延期という形になってしまいます。本来であれば26日に本体をかける予定でしたが、風が吹いたため29日に延期になりました。29日もちょっと厳しいような感じで、さらにどうなるのかなというところでございます。

それと、私の個人的な情報ですが、私の友達でマグロ船の通信士をやっていた方がおまして、その方が電子書籍で「船はよいトコ 一度はおいで」という本を出しました。結構おもしろいので、もしよろしければネットで開いて見ていただければと思います。非常におもしろいです。

【長谷部部会長】

わかりました、ありがとうございます。

クーポンかなんか出ないのですか。

【白幡使用者委員】

電子書籍でして、900円で買わなきゃならないです。

【長谷部部会長】

どこで買えるのですか。

【白幡使用者委員】

ネットで買えます。

【長谷部部会長】

キンドルで買える、ということだそうです。

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

森委員のほうからは何かございますか。

【森公益委員】

特にはないです。

【長谷部部会長】

ほかにはないということで、本日の議事を終了とさせていただきたいと思います。

よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。

では、次回の船員部会は4月21日金曜日の15時30分から、会場はここ4階会議室で開催することになります。よろしく願いいたします。

◎閉 会